

令和6年度

飛騨市一般会計補正予算（補正第2号）の概要



9月補正予算（一般会計補正第2号）のポイント

今回の補正予算は、確定した財源はすみやかに計上する方針のもと、当初予算に対して上振れした地方税6千2百万円及び普通交付税2億7千6百万円のほか、純繰越金9億1千6百万円を歳入計上しました。また、地方財政法に基づく決算剰余金処分として純繰越金の2分の1以上を財政調整基金に積み立てしなければならないため、6億4千万円を積立金として歳出計上しました。

また、5月の豪雨で被災した農地や市道の復旧に総額1億9千2百万円を計上するほか、10月より制度が拡充される児童手当の不足見込額3千2百万円に加え、定期接種となる新型コロナウイルスの予防接種不足見込額1千2百万円を追加計上しました。

そのうえで、なお超過する財源6億3千万円については、今後の人事院勧告に基づく職員人件費等の補正財源として2億円、これまでの災害専決予算の財源として繰り入れした1億円をあわせた3億円を財政調整基金に積み立てするほか、市有施設の維持管理経費に活用する公共施設管理基金に1億1千万円を積み立てします。さらに予備費には、今シーズンの除雪突発対応分として2億円、これまでに災害応急復旧を中心に活用してきた額を還元させるための2千万円をあわせた2億2千万円を計上いたします。

その結果、総額15億5千5百万円を追加した補正後の予算額は、212億8千2百万円（前年同期+6.6%）となりました。

■総務費

<一般管理費>

国におけるアナログ的な法令等の全面改正にあわせて、飛騨市が制定するすべての関連例規を修正する必要が生じたことから、委託料2百万円を計上しました。また、略式代執行が保留となっていた神岡地区の特定空家にかかる協議が整ったことから、除却に係る工事費5百万円を計上しました。

<会計管理費>

財政調整基金積立金として、法令に基づいて算定される6億4千万円、また豪雨災害の専決予算財源として繰り入れてきた1億円、さらに今年度の人事院勧告に基づく職員人件費等の財源留保分として2億円をあわせた9億4千万円を計上しました。このほか、市有施設の維持管理に幅広く活用できる公共施設管理基金に1億1千万円を積み立てします。

<財産管理費>

旧朝開町農産物直売施設跡地の有効活用を図るため、不動産鑑定など所要額1百万円を計上しました。

<企画費>

市制20周年記念事業として市内で行われる各種イベントを支援するための補助金5百万円を追加計上しました。

■民生費

<社会福祉総務費>

下気多地区における障がい者就労支援施設の整備計画に向けて、不用施設の除却工事費 5 百万円を計上しました。

<老人福祉費>

介護報酬の改定にあわせた養護老人ホーム措置額とするため、所要額 3 百万円を追加計上しました。

<児童福祉総務費>

児童を一時的に養育・保護する費用の不足が見込まれるため、所要額 1 百万円を計上しました。

<児童手当費>

高校生までの支給延長や所得制限の撤廃、第 3 子以降の支給額増額など、10 月からの制度改正に向けて不足が見込まれる児童手当費 3 千 2 百万円を追加計上しました。

■衛生費

<保健衛生総務費>

地域医療の確保を目的とした医学生への修学資金貸付にかかる負担金 1 百万円を追加計上するほか、全額県補助金を財源に医学生や研修医の通年実習など富山大学と連携した事業への補助金 3 百万円を計上しました。また、市内の医療提供体制を整備するための補助金 1 百万円を計上しました。

<予防費>

令和 6 年度より定期接種となる新型コロナウイルスの予防接種について、当初見込みよりもワクチン接種費用が大幅に増額されたため、不足する費用 1 千 2 百万円を追加計上しました。

<母子保健費>

産後ケアにかかる事業内容が広く周知され、利用者間でも大変好評で予定を上回る利用回数であることから、不足見込額 1 百万円を追加計上しました。

■労働費

<労働諸費>

大手就職情報サイトへの掲載費用の支援など、市内企業の人材確保を推進するための補助金 1 百万円を追加計上しました。また、市内事業所への就職にかかる奨励金について、個人及び事業所へそれぞれ 1 百万円追加計上しました。

■商工費

<商工振興費>

市内店舗における事業承継や更なる事業拡大を図る事業者を支援するため、補助金3百万円を追加計上しました。

<観光費>

全国の薬草団体を巻き込んだネットワークを構築するために必要となる新たな地域おこし協力隊員の経費2百万円を計上するとともに、薬草を通したまちづくりの広報活動に必要な関連経費2百万円を計上しました。

<施設管理費>

老朽化したMプラザの温泉補給用電動2方弁の更新や、今後に見込まれる施設の突発修繕費用5百万円を追加計上しました。

■土木費

<道路新設改良費>

岐阜県の補正予算に伴い、県道改良が進捗されるため県営事業負担金5百万円を追加計上しました。また、豪雨災害復旧にあわせて市道改良を前倒して進捗させることから1千万円を追加計上しました。

<住宅対策費>

景観形成地区における景観に配慮した建築を予定する市民を支援するため、補助金1百万円を追加計上しました。

■災害復旧費

<農地農業用施設災害復旧費>

5月の豪雨により被災した農地3箇所にかかる復旧工事費2百万円を追加計上しました。

<林業用施設災害復旧費>

5月の豪雨により被災した古川町畦畑地内の林道宇津江～内ヶ谷線の復旧工事費8百万円を追加計上しました。

<土木施設災害復旧費>

5月の豪雨により被災した上気多地内の急傾斜地のほか、東茂住地内の市道大津山線などの復旧費に総額1億8千1百万円を追加計上しました。また補助対象とならない小規模な被災箇所に対応する重機借上料2百万円を追加計上しました。

■予備費

<予備費>

今シーズンの除雪経費の突発対応分として2億円計上するとともに、5月と7月の災害応急復旧を中心に予備費充用してきた額を復元するため、2千万円を追加計上しました。

■ 共通事項

< 人件費 >

職員の退職や新規採用者の数が確定したことに加え、配置異動等に伴う調整を行った結果、総額で3千7百万円を減額しました。

< 暖冬対策指定管理者支援金 >

令和5年度シーズンにおける暖冬の影響を受けたスキー場やその近隣6施設に対して、財政調整基金を財源とした支援金1千3百万円を計上しました。

※ 本頁の数値は、実際の予算計上額を100万円単位に四捨五入して記載しています。

9月補正予算の体系図

(単位:千円)

歳 入
1,554,978

市税の上振れ	62,241
地方交付税の上振れ	275,574
国県支出金	172,240
純繰越金の確定	916,137
R5歳入歳出差し引き ①	1,474,310
繰越明許費繰越金 ②	208,173
純繰越金 ③=①-②	1,266,137
R6当初予算 ④	350,000
今回計上額 ③-④	916,137
繰入金	24,595
財政調整基金繰入金(暖冬対策分)	13,200
ふるさと創生事業基金繰入金	291
社会基盤維持基金繰入金	5,000
防災基金繰入金	352
合併基金繰入金	5,752
市債	54,187
その他	50,004

歳 出
1,554,978

災害復旧		
192,140	<ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧工事 190,140 ・重機借上料 2,000 	
特記事項		
57,115	<ul style="list-style-type: none"> ・暖冬対策指定管理者支援金 13,200 ・児童手当給付費の追加分(10月以降拡充) 31,615 ・新型コロナワクチン定期接種の追加分 12,300 	
職員人件費		
△ 36,661	<ul style="list-style-type: none"> ・正職員等の人件費補正 △ 15,015 ・会計年度任用職の人件費補正 △ 21,646 	
基金積立金		
1,050,000	<ul style="list-style-type: none"> ・財政調整基金へ積み立て(地財法7条積立分) 640,000 <li style="padding-left: 20px;">純繰越金の1/2以上を積み立て <li style="padding-left: 40px;">$1,266,137 \times 1/2 \approx 640,000$ ・財政調整基金へ積み立て(災害対応財源の復元) 100,000 ・財政調整基金へ積み立て(人事院勧告の財源留保) 200,000 ・公共施設管理基金へ積み立て 110,000 	
その他		
72,428	<ul style="list-style-type: none"> ・過年度国県補助事業の精算返還金 40,257 ・その他の案件 32,171 	
予備費		
219,956	<ul style="list-style-type: none"> ・今シーズンの除雪突発対応分 200,000 ・豪雨災害に伴う応急復旧活用等の復元 20,000 ・歳入歳出調整分 △ 44 	

予 算 総 括 表

(単位:千円)

会計	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
01 一般会計	19,726,677	1,554,978	21,281,655	160,677	52,700	32,861	1,308,740
02 国民健康保険特別会計(事業勘定)	2,549,600	73,637	2,623,237	99			73,538
03 国民健康保険特別会計(直営診療施設勘定)	194,600	368	194,968			62	306
04 後期高齢者医療特別会計	496,400	9,151	505,551				9,151
05 介護保険特別会計(保険勘定)	3,314,700	217,447	3,532,147	1,865		119	215,463
06 介護保険特別会計(事業勘定)	22,000	△3,760	18,240				△3,760
特別会計合計	6,805,000	296,843	7,101,843	1,964	0	181	294,698
合 計	26,531,677	1,851,821	28,383,498	162,641	52,700	33,042	1,603,438

予 算 総 括 表

会計 一般会計

歳入

(単位:千円)

款	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
01 市税	3,504,345	62,241	3,566,586				62,241
10 地方特例交付金	106,500	9,371	115,871				9,371
11 地方交付税	6,500,000	275,574	6,775,574				275,574
13 分担金及び負担金	166,226	807	167,033			807	0
15 国庫支出金	1,621,776	165,188	1,786,964	154,903			10,285
16 県支出金	1,203,193	7,052	1,210,245	5,774			1,278
18 寄附金	502,000	4,427	506,427			4,427	0
19 繰入金	2,644,530	24,595	2,669,125			11,395	13,200
20 繰越金	350,000	916,137	1,266,137				916,137
21 諸収入	561,019	35,399	596,418			16,232	19,167
22 市債	1,393,700	54,187	1,447,887		52,700		1,487
合 計	19,726,677	1,554,978	21,281,655	160,677	52,700	32,861	1,308,740

予 算 総 括 表

会計 一般会計

歳出

(単位:千円)

款	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額	財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
01 議会費	114,326	△5,962	108,364				△5,962
02 総務費	3,787,582	1,020,651	4,808,233	1,219		5,903	1,013,529
03 民生費	4,339,331	56,214	4,395,545	34,919		608	20,687
04 衛生費	1,849,895	34,996	1,884,891	3,635		18,066	13,295
05 労働費	23,612	3,110	26,722				3,110
06 農林水産業費	1,044,900	△10,981	1,033,919	△1,146		202	△10,037
07 商工費	1,194,780	37,713	1,232,493			907	36,806
08 土木費	2,761,534	26,024	2,787,558		200	5,000	20,824
09 消防費	905,775	△7,373	898,402				△7,373
10 教育費	1,735,218	△11,510	1,723,708		△9,500	1,500	△3,510
11 災害復旧費	184,700	192,140	376,840	122,050	62,000	675	7,415
13 予備費	50,000	219,956	269,956				219,956
合 計	19,726,677	1,554,978	21,281,655	160,677	52,700	32,861	1,308,740